

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

宮城県 亶理町

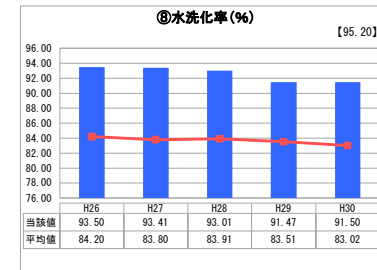
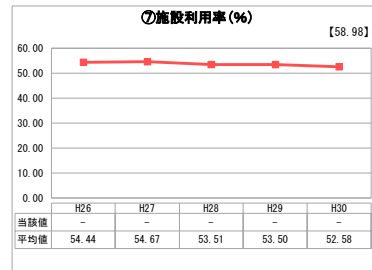
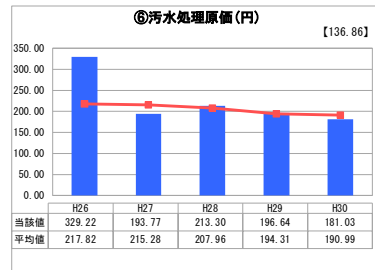
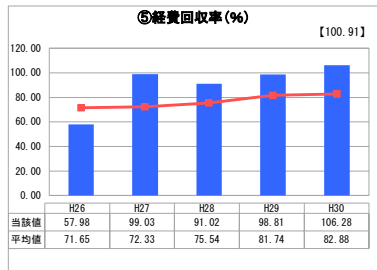
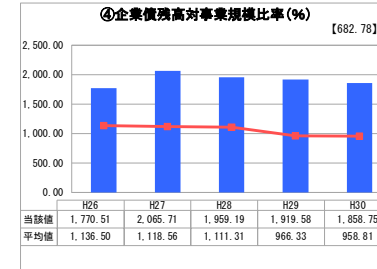
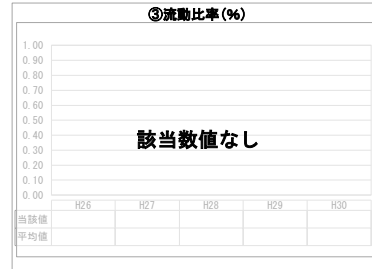
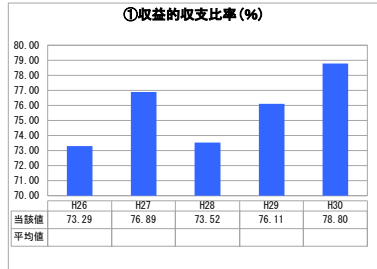
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	79.17	97.33	3,510

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
33,674	73.60	457.53
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
26,596	9.41	2,826.35

**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

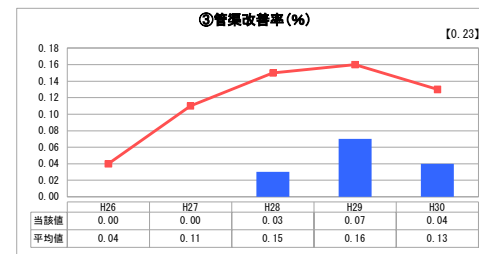
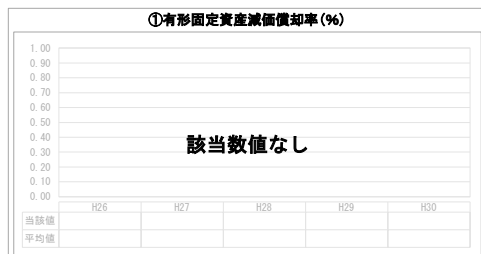
### 1. 経営の健全性・効率性について

全体として経営状況が上昇していると思われる。  
 ①は100%に届いていない状況なので、今後もより維持管理経費の削減や計画的かつ効率的な下水道整備を行い、引き続き上昇するよう努力が必要である。  
 ④は減少傾向である。今後も減少が続くよう事業規模を調整していきたい。  
 ⑤は100%を上回ることができたが、今後も減少しないよう、使用料の増収を目指し普及率の向上を図りたい。  
 ⑥は類似団体平均を下回ることができた。汚水処理は流域下水道で行っており、汚水処理費を単純に下げることが難しいと考えられるが、年間収収水量を上昇させるよう普及率の向上を図りたい。  
 ⑧は類似団体平均を大きく上回っているが、全国平均には届いていない状況である。新たに供用開始した区域の水洗化が進んでいないと考えられるため、より一層の水洗化を促していきたい。

### 2. 老朽化の状況について

最も古い区間の改修を行っているため、管渠改善率は今後ともコンスタントに計上され、改修率の上昇が見込まれる。

## 2. 老朽化の状況



### 全体総括

前年と比較すると上昇に転じてきていると考えられるが、依然として全国平均、類似団体に達していない項目もあることから、全項目で優良とされるよう、現状に満足せず維持管理費の削減や汚水処理原価の抑制、普及率の向上などに取り組んでいく必要があると考える。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。